

デイサービスの風景

今月の手作りの料理  
お好み焼き



スイーツポテト



食欲の秋と言う事で今月の手作り料理はさつまいもの甘みを生かしたスイーツポテトに、山芋をすり下ろした生地を使ったお好み焼きと焼きおにぎりを作りました。普段なら女性陣が頑張られるのですが今回は男性陣も芋を潰したり、焼きおにぎりに醤油を付けたりと進んで手伝っていただけました。出来上がりはさまざまでしたが肝心のお味はと言えばOKサインを頂けました。秋も深まり気温も下がる中、心も体も暖まるような時間が過ごせました。

貼り絵にチャレンジ



デイサービスの壁紙に一足早い冬の訪れが。綺麗に見える作品ですが大部分を新聞の切り抜きや広告で作っています。いざ探そうと広げますが「これはイメージと違うなあ。」「なかなか良い色がないなあ。」と色選びに苦戦。時間は掛かりましたが見事な作品が出来上がりました。広告紙とは思えない良い出来具合です。バラの折り紙も秀逸です。

クローバー



居宅介護支援事業所とは、都道府県の指定を受けたケアマネージャー（介護支援専門員）がケアプラン（居宅サービス計画）の作成を依頼する際の窓口となり、サービス事業所との連絡、調整等を行います。費用は無料です。お気軽にご相談ください。

居宅介護支援事業所

まつかせ

【電話】084-972-8133

サテライト松風園だより

平成27(2015)年  
11月1日 発行  
秋冬特別号

特別養護老人ホーム  
サテライト松風園  
☎(084)982-5586  
デイサービス  
サテライト松風園  
☎(084)982-5691  
福山市加茂町  
大字下加茂448番地

ホームページ  
<http://www.shofu-kai.or.jp/>

鉦のリズムに合わせて

10月10日・11日倉神社（加茂町下加茂）の祭典が行われました。今年も巡行していただき、鉦や跳ね太鼓を披露していただきました。まずは、子どもたちです。太鼓を持ち、揃いの法被姿を見るだけでも笑みがこぼれます。

次は青年です。体に響くような太鼓とともに、若者たちが跳ね踊ります。終盤は力強く早まる鉦の音に負けじと勇壮に踊る躍動感で、見る者まで力づけられました。

祭りの終わり、冬の足音が徐々に聞こえてくる季節となります。下加茂中組町内会のみなさま、この度は大変ありがとうございました。



無限の希望

10月3日ふたば保育所の運動会に行きました。趣向を凝らした競技が行われ、「かわいいなあ」「あんな時があったなあ」と懐かしむ場面もありました。玉入れ競争にも参加。子どもたちの気迫に押され見事に敗北しました。

どの競技にも一生懸命取り組んでいる姿がほほえましく、時には昔の我が子の姿を重ね思わず胸が熱くなり、涙ぐみそうになりました。子どもたちの、飛んだり跳ねたり走ったりしている姿に、「無限の希望」を感じながら秋晴れの空のもと、帰路につきました。

参加させて頂いた、ふたば保育所のみなさま 爽やかな感動をありがとうございました。



松風会のホームページを開設しました

アドレスは以下の通りです。  
<http://www.shofu-kai.or.jp/>

さまざまな情報を随時更新してまいりますのでぜひご覧ください。

松風会 福山市  検索

「厚志ありがとうございます」  
《ご奉仕》  
・久保 恵子  
・ワミレスサロン川口 様

# 鬼気迫る演技

10月3日盈進学園感謝祭に神楽を見に行きました。入居者の中には、「大晦日に夜通し神楽があつて、こたつを持って見に行きようた」と話される方や神楽経験者も。今回の演目は「土蜘蛛」(つちぐも)。

大和の国・葛城山に棲み付き、天下を攪乱(かくらん)しようとする土蜘蛛の精魂が、都の守・源頼光(みなもとのかげみつ)へ忍び寄りませす。時に病に苦しむ頼光は、侍女・胡蝶(こちょう)に典薬の守から薬を持ち帰るよう命じます。その道中、土蜘蛛は胡蝶を襲い、胡蝶になりすまして頼光へ近づきます。そして、良薬と偽り、毒薬を飲ませます。しかし、頼光に正体を見破られ、伝家の宝刀「膝丸(ひざまる)」で「太刀浴びた土蜘蛛は葛城山へと逃げ帰ります。頼光は、我が身を救った宝刀「膝丸」を「蜘蛛切丸(くもきりまる)」と改め、四天王にこの刀を授け、土蜘蛛退治を命じ



壮絶な戦いの果てに成敗する。というお話。



土蜘蛛に襲われる前の胡蝶は優しい表情をしていましたが、土蜘蛛の精魂が乗り移ってからはその表情が一変。恐ろしい姿に会場の幼児たちが逃げ惑うほど、迫力があり緊張感も伝わってきました。本物に触れることのできた貴重な時間を過ごしました。

# 手作りちくわ体験



10月25日鞆町の阿藻珍味にちくわの手作り体験に行きました。「旅行みたいじゃな」と久しぶりの遠出に胸が高鳴ります。沼隈を越えて、内海町に入ると、車窓からキラキラと光る海が目の前に。「わあ、綺麗じゃな」「海なんか、久しく見とらんで」と、長く加茂や山野に住まわれていた方には、海の煌きがとて新鮮に映ります。

現地に到着すると、昼食は阿藻珍味の名物でもあるラーメン。「こんなに食べられるかなあ」と大きなどんぶりにあったラーメンも気が付くと「ほんに、みな食うてしもうた」といつの間にか完食。

いよいよ「ちくわの手作り体験」。鯛やスケソウダラのすり身を竹の棒に練り付けます。これがなかなか難しく、綺麗な円柱状にはなりません。この時の作り手の加減で美味しさが決まるそうです。悪戦苦闘しながら形成しあとは焼く作業。これはお店の方にお任せ。目の前でゆっくり回転しながら焼き色が付きます。待つこと20分「鞆の浦 鯛ちくわ」の完成です。袋に小分けされ、焼き立てが手元に。「かじりかじり戻ろうか?」と出来上がりにも大満足です。心地よい疲労と、手作りのちくわに残る暖かさを感じながら、鞆の浦を後にしました。



10月19日、中庭でバーベキューを特養・デイサービス合同で行いました。10月初旬は日中の気温も低く風が冷たい日もありましたが、この日は曇一つない快晴。日差しは元では暑いくらいの絶好のバーベキュー日和。炭火の上に肉を置くと、たちまち食欲をそそる香りが立ちのぼります。「いい匂い」職員からも思わず歓声が上がります。「柔らかくてええわあ」と炭火で焼いたお肉は格別だったようです。笑顔がこぼれます。食後はゲームを楽しみ、「美味しかったわ、ごちそうさん」と、当日の天気同様に見られました。



# 元気ハツラツと

足の筋肉をほぐすなど準備体操を行った後の平行棒を使った歩行訓練を開始。日々のリハビリの積み重ねから「足が大分動くようになった。軽くなったよ!」というも好評です。皆さん真剣な面持ちで理学療法士の先生と向き合っています。



# デイサービス室内運動会

赤チーム頑張るぞ  
エイエイオー



ひも引き対決  
もうそんなに引っ張らんでよ



# お玉で水汲み競争

おとととと、思うようにすくえんな、どっちのチームがボトルを早く満水にできるでしょうか、皆さん真剣なお顔です。



# パン食い競争

もう手で食べちゃえ



# 物送りリレー

あわてんでもいいよ

